

こども新聞  
**週刊がほピョンプレス**  
 毎週日曜発行  
 2020 4/5  
 河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな  
**子ども**  
 だった!?

①

きょうのテーマ

今月から1面は毎回テーマが替わるよ。1週目は東北ゆかりの人が、園児、小学生、中学生のころの思い出を振り返る。「みんな子どもだった!」。1回目はプロレスラーの里村明衣子さんだよ。

◇ テレビで活躍する女優を夢見て、有名になるとばかり考えている子どもでした。特に浅野温子さん、浅野ゆう子さんのW浅野が好きでした。格闘技との出会いは3



里村 明衣子さん(40歳・プロレスラー)

工藤静香さんも大好きでした。歌や振り付けはもちろん、前髪をカールして髪形もまねてました。

さとむら・めいこ 新潟(にいがた)市出身。1994年にプロレス団体(だんたい)「ガイアジャパン」入団(にゅうだん)、95年にデビュー。2005年に「センダイガールズプロレスリング」最初の所属(しよぞく)選手になった。11年から社長。

みんな思い出

有名女優夢見てアピール

歳。姉の影響で柔道を始めました。鼻血を出すこともあって、最初は好きになれませんでした。

は、男女別で試合をする小学5年のころです。女子選手が少ない時代でした。地元で有名になるチャンスとやる気に火がつき、大会で優勝できるようにになりました。

でも、柔道だけでは芸術界にアピールできないと思い、ピアノ、習字、そろばんの教室にも通いました。有名人になるヒントを得ようと、伝記もたくさん読みました。

自分売り込み過ぎて、失敗したことも。クラスで立候補できるものは何でも立候補し、学級委員も務めました。一方で、友人たちが少しずつ距離を置くようにの夢はかなったかな。

能界にアピールできないと、自分を売り込み過ぎて、失敗したことも。クラスで立候補できるものは何でも立候補し、学級委員も務めました。

進学した中学校で女子柔道部をつくりました。中学2年の時に姉に連れられ、初めてプロレスを見ました。観客の熱狂ぶりに感動しました。その時、心に決めました。中学校を卒業したらプロレスの世界を目指そうと。履歴書に「柔道の県大会優勝」と書けるように練習に打ち込み、3年生で優勝しました。

W浅野の役柄だけでなく、ぱりぱり働き、海外でも仕事をする、そんな生き方にも憧れていました。役者からプロレスラーに職業は変わりましたが、プロレス団体を経営したり、海外で試合をしたり、子どものころの夢はかなったかな。

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇7日(火) 本屋大賞発表  
 全国の書店員が、投票で決める賞だよ。早見和真さんの「店長がバカすぎて」や、小川糸さんの「ライオンのおやつ」など10作品がノミネートされているんだ。

きょうの紙面

- 2面 ギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー